

豊島郡吉田村戸長役場文書概要

- 1: 文書群番号 086004
- 2: 文書群名 豊島郡吉田村戸長役場
- 3: 出所 吉田村戸長役場
- 4: 家業・役職等 -
- 5: 地名 大阪府豊島郡吉田村／細河村吉田／池田町吉田／池田市吉田／池田市吉田町／池田市吉田町ほか
- 6: 行政区分 吉田村戸長役場／豊島郡第2戸長役場／細河村／池田町／池田市
- 7: 歴史 吉田村は近世は幕府領であった（ただし〔天保11～13年・1840～1842〕は高槻藩永井氏預り地）。「五畿内志」には「種樹」の産地とあり、特に松の栽培は有名であった。また同村には、天竜寺を開山した夢窓疎石の開基と伝えられる曹洞宗静居寺末陽松庵がある。近代は明治4年（1871）大阪府に所属、9年の人口は133人。22年に細河村、昭和19年（1944）に池田市の大字となった。
- 8: 伝来 昭和61年（1986）10月に古書籍商より購入、平成14年（2002）2月に整理・目録作成を完了。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 30点（目録件数30件）
- 11: 年代 明治13年（1880）～明治後期
- 12: 構造と内容 本文書群は、大阪府豊島郡吉田村戸長役場の協議費出納関係書類綴りの控え等からなる。明治13～17年度の戸長役場費支出簿・諸費明細表・受払勘定帳の控えが中心。他に細河村の陽松庵僧堂改築趣意書や共有地売渡証、荒地免租年期明け地価取調帳などがある。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 坂江 愛